

工学部の学生 6 名がタイ・KMITL で 開催された gPBL プログラムに参加！



参加者との最終記念撮影の様子

8月6日(月)ー16日(木)の期間において、タイ・バンコクの King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang (KMITL)にて行われた gPBL (Global Project Based Learning) プログラムに、工学部から 6 名の学生: 電子情報工学科 4 年: 木下賢也君(京都高校)、尾家英人君(育徳館高校)、生命環境化学科 4 年: 白水まどかさん(福岡西陵高校)、知能機械工学科 4 年: 原 聡志君(佐土原高校)、山中将広君(宗像高校)、電気工学科: 國武朋佳さん(八女高校)が参加しました。gPBL とは、言葉や文化の異なる海外の学生と共同で課題解決に取り組むことにより、異文化に対する理解力も深め、グローバルに活躍するリーダーの育成を目指すプログラムです。今回学生が参加したプログラムは、「Smart Farming System for Mushroom through Multicultural Working Environment」という題材であり、IoT(もののインターネット: Internet of Things)技術を利用することで遠隔地からキノコを効率的に栽培するというものです。本プログラムにおいては、タイ・KMITL の学生 9 名、中国・同済大学の学生 16 名、本学学生 6 名の合計 31 名が 6 つのグループに分かれ、英語でコミュニケーションを取りながら、課題解決学習に取り組みました。将来、本プログラムの経験を活かし、学生が世界的な舞台で活躍することを期待しています。



掲示期間 H-30-128
9月11日～10月2日

この件のお問い合わせは広報課へ